

6 県立学校研究指定校

(1) 目的

本県県立学校生徒の学力向上を図るため、特に各教科の学習指導に関する研究を通して、現職教育の充実の観点に立った実践的研究を委嘱する。

なお、その研究成果を広く県内各学校等に普及し、本県の学力向上に資する。

(2) 研究期間

昭和42年4月から昭和43年3月までの1年間。ただし、2年継続が望ましいので、研究の進捗よく状況および当該学校の希望等により必要と認められる場合、昭和43年もひきついで指定する。

(3) 研究指定校（いずれも新規指定）

福島女子高等学校	安達高等学校
安積女子高等学校	原町高等学校
相馬農業高等学校	喜多方工業高等学校
喜多方商業高等学校	郡山ろう学校

(4) 研究主題

各学校、各教科（科目）に共通するものとして、次の主題を設定し、各校では、実情に即して、より具体的な小テーマに展開して、研究を進めるようにした。

- ① 個人差、能力差に応じた学習指導はどうしたらよいか。
- ② 教材の精選はどのように進めたらよいか。

(5) 各校の研究教科（科目）およびテーマ

- 福女高
芸術科（音楽）
「音楽教室における施設設備とその活用」
芸術科（美術）
「教材の精選という立場から、新教材の導入とその指導」
- 安達高
社会科（政治経済、日本史、地理）
「学力向上をはかるための学習指導計画をいかにしたらよいか」
英語科
「学力向上をはかるための学習指導計画をいかにしたらよいか」
- 安女高
理科（生物）
「生物学習における帰納的な思考力の育成指導について」
家庭科（家庭一般）
「食生活の経営」

(5) 本年度の視学委員とその視察について

委員の職・氏名	担当部門	関係教育事務所	期	日	
			視	察	校
福島大学教授 佐藤俊太郎	算数・数学	相馬	11月5日（日）、11月6日（月）、11月7日（火）		
			金房小、向陽中、小高工業高		
福島大学教授 田中孝之	学習指導	両沼	10月11日（水）、10月12日（木）、10月13日（金）		
			宮下小、柳津小、坂下一中		

- 原町高
数学科（数学Ⅰ）
「数学Ⅰの教材を精選することにより、能力差に応じた学習指導するにはどうすればよいか」
国語科
「本校の生徒は古文の読解の上でどういうところに困難を感じるか」
 - 相馬農高
農業科（畜産）
「本校における農業自営者養成のための畜産学習の指導について」
 - 喜多方工高
工業科（電気）
「電気理論の学習指導はどのようにしたらよいか」
理科（化学）
「思考力を育てるための学習指導法の様式と形態はどのようにしたらよいか」
 - 喜多方商高
商業科（事務機械）
「効果的学習指導法はどうあるべきか（能力のある生徒の指導、能力の低い生徒の指導を中心として）」
 - 郡山ろう学校
国語科
「口語力を高めるための指導法」
- 以上のうち、原町高の数学科と国語科、および喜多方商高の商業科は本年度1年間で研究を終了するが、他は43年度まで継続研究することになっている。

県視学委員の学校訪問

- (1) 視学委員設置の目的
本県の現職教育および学校における教育活動のあり方について専門的な見地からの援助を得て、児童・生徒の学力向上対策の充実を図るため、福島県視学委員を設ける。
- (2) 任務
県教育委員会（以下委員会という）の計画に基づいて、次のことを行なう。
 - ① 本県の現職教育のあり方について教育長の諮問に応ずる。
 - ② 本県の小・中・高等学校を訪問し、教育活動のあり方について教職員の指導助言にあたる。
- (3) 委嘱
本県内の学識経験者の中から教育長が委嘱する。
- (4) 任期
委嘱された日から当該年度末までとする。